本カタログに掲載している製品内容は、部品としての品質範囲です。この部品を使用した最終製品の機能・性能・安全を保証するものではありません。

連続間仕切折戸 170ARD

開閉品質感スタンダード！ 上吊り 天付 環境対応 CAD

扉幅	457mm以下
扉高さ	2032mm以下
扉厚	19～35mm ※2
扉質量	7kg以下（扉1枚当り）※1
製品仕様	□ 2～4枚折戸仕様（天井付け）

※1 扉サイズは扉質量を優先して決めてください。
※2 厚さ28mm以上の扉を使用する際には、面取り加工が必要です。

部屋の間仕切りからクローゼットにまで使える、コンパクトな軽量折戸金物。

■特　長

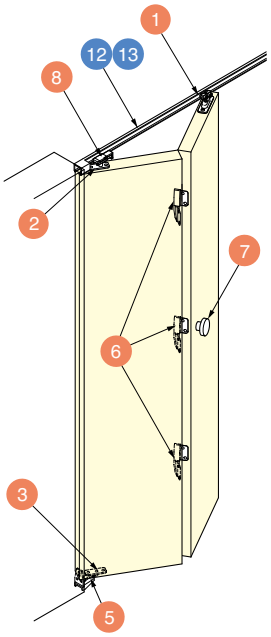
- ウォークインクローゼットの扉、部屋の間仕切りに最適な、軽量用折戸金物です。
- 上ローラーはダブルローラー仕様のため、滑らかに動きます。
- 上ローラー、上下ピボット、ヒンジとも脱着が容易で、施工性、メンテナンス性に優れています。
- オプションで下レール、下ガイド仕様も可能です。
- 間仕切扉用の中では最もコンパクトなエコノミータイプです。

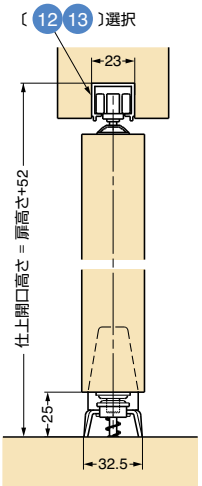
■注　意

- 扉開閉時の衝撃に耐えられ、扉質量に対応できる強度を持った枠に取り付けてください。強度のない枠は扉の動きを著しく低下させるばかりでなく、上レール⑫⑬の脱落などを引き起こすことも考えられ、大変危険です。
- 間口の大きさが2400mmを越える場合は、1枚の扉幅は450mm以下にしてください。これ以上の場合は荷重的に保証できません。
- 本製品はアコーディオンドアではありません。丁寧に開閉を行わないと故障の原因になります。
- 上レールを必要な長さに切断します。（上レール内部に切り粉が残らないようきれいに清掃してください）。

■納まり寸法例

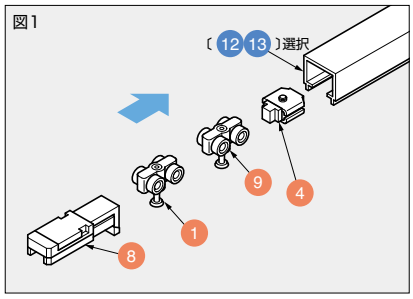
丸番号は部品番号です。
右ページの部品表と照らし合わせてご覧ください。
本図はパターン1を示します。（右ページ参照）
吊元を右側にする場合は、各部品の取り付けは勝手違いとなります。





■上レール⑫⑬の取り付け

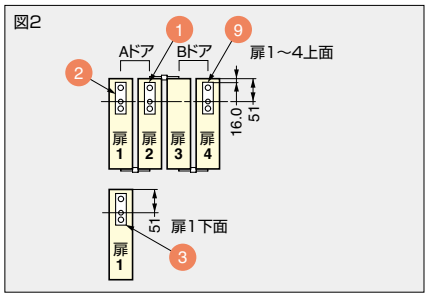
図1



・上ストッパー④、上ローラー①⑨（必要数）、ピボットソケット⑧の順に上レールに入れます。

■上ピボット②、上ローラー①⑨、下ピボット③の取り付け

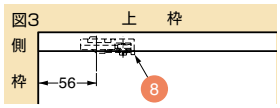
図2



・図2のように上ピボットと上ローラーのベースプレートをピボットの中心が扉木口から51mmになるよう扉厚の中心に取り付けます。
・下ピボットを扉1の吊元側下面の扉厚の中心位置に取り付けます。

■扉の吊り込み1

図3



ピボットソケット⑧の穴の中止を側枠から56mmに調整しておきます。

図4

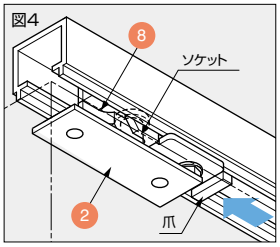
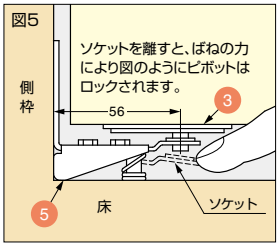


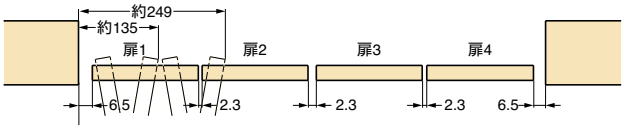
図4のように上ピボット②をソケットに差し込み、爪を矢印方向に押してピボットをロックします。

図5



ブラケット⑤と上レール⑫⑬の中心を合わせ、ソケットの中心を側板か56mmに調整します。
図4の上ピボット②のロック後、図5のように下ピボット③をソケットに固定します。

■開口部寸法（扉厚35mmの場合）



輸入品のため、製品改良などにより予告なく寸法や材料の仕様変更を行う場合があります。念のため、現品にてご確認ください。